



11 / 18 意見交換会

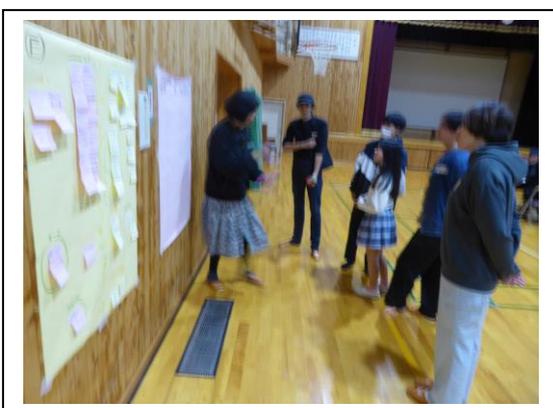


11月18日(月)に意見交換会を開催し、「余野・余野小のよさについて語り合おう」をテーマにワークショップを行いました。

参加者は、余野小5・6年児童、保護者、職員、学校運営協議会委員、地域の皆さん・中高生、教育委員会、地域おこし協力隊の皆さん等です。

最初に「余野・余野小のいいところ」をグループごとに出し合い、次にそのよさを生かしながら「20年後の余野小学校で過ごす“最高の一日のスケジュール”」を考えました。そして最後に、各グループからでてきた“最高の一日”を皆で共有しました。

皆さん和気藹々と楽しみながら交流する姿が印象的でした。



★次ページに、参加された皆さんの感想を紹介します。

＜参加者の感想＞

どの班も同じようなスケジュールができていて、それは皆が余野の良さを理解しているからだろうと思いました。

今あるものを見つめ直し、当たり前だと思っていた「余野の良さ」を再発見できたように思います。

良いところと悪いところは表裏一体。良いところはもっと良いところを見つけ、悪いと思いついていてるところも視点を変えれば素晴らしい魅力になるのだと皆が気づけば、余野がさらに輝くと思います。

余野小学校を特別校として全国から入学可能とし、児童には自然体験を通じて生きる力を養う学校になってもらいたい。

日本の教育には、そんな学校があってもよいのでは！！真庭市独自の制度があってもよいと感じます。

20年後の余野小というテーマが難しく、わりと現実的なことばかり考えてしまいました。

未来を考えることも大切だけれど、今（今日参加している）の小学生達にどんなメッセージを送ることができたのか・・・。

今日のグループワークがやっただけにならないように、何か次のアクションにつながってほしいです。

余野の自然、伝統行事、人間関係をずっと大切にしたいと皆が考えていることを確認できたように思います。こんな環境で子どもを育てることができ魅力に皆に知らせる機会を増やしていけるといいと感じました。

20年後も今が続いてほしいと、今日参加した人が考えていることを知りました。

最後に、参加した小学生の感想です。このグループは12月23日という日を設定して、1日のスケジュールを作りました。

最高な一日ができあがってすごくうれしかったし、皆の意見のおかげでいろいろな発想ができたので楽しかったです。

できたら今年の12月23日に実行したいです！！

後日、皆が作ったスケジュールを紹介します